



**スズキ株式会社**  
第 151 期 中間報告書

2016年4月1日から2016年9月30日まで



## 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社第151期中間報告書をお手許にお届けするにあたりまして、ご挨拶を申し上げます。

### 燃費・排出ガス試験に係る不正行為への対応について

はじめに、当社の四輪車の燃費・排出ガス試験に係る業務について、国が定める規定と異なる不正な取扱いがあり、株主の皆様をはじめ関係各位にご迷惑とご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。再発防止対策を着実に実行してまいりますとともに、各種業務におけるコンプライアンスの徹底やリスク管理体制の強化等に取り組んでまいります。

### 業績の概況

当社グループを取り巻く経営環境は、米国や欧州、インドでの景気回復が進む一方、米国の金融政策正常化の影響や英国EU離脱問題に伴う不透明感、新興国経済の先行きなどが懸念される状況にあります。国内においては政府による各種政策を背景に景気は緩やかに回復しているものの、為替の円高が進むなど、先行きは不透明な状況にあります。

当第2四半期の連結売上高は1兆4,990億円と前年同期に比べ565億円(3.6%)減少しました。国内売上高は登録車の販売が増加しましたが、軽自動車販売やOEM売上の減少等により4,966億円と前年同期に比べ34億円(0.7%)減少しました。

海外売上高はインドや欧州等での四輪車の販売は増加しましたが、インドネシア、パキスタンでの四輪車の販売減、および為替影響等により1兆24億円と前年同期に比べ531億円(5.0%)減少しました。

連結利益の面では、営業利益は為替影響があったものの、インド、欧州での四輪車の販売増等により1,155億円と前年同期に比べ144億円(14.3%)増加、経常利益は1,218億円と前年同期に比べ97億円(8.7%)増加しました。親会社株主に帰属する四半期純利益は経常利益の増加に加え、投資有価証券売却益の増加もあり999億円と前年同期に比べ208億円(26.4%)増加しました。

当中間期の配当金につきましては、1株につき前回予想より2円増配し、17円(前年中間配当15円)とさせていただきます。

当社グループを取り巻く環境は、引き続き厳しい状況が続きますが、当社グループは丸丸となつてあらゆる分野での改革に取り組み、業績の向上を目指し事業活動を展開してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2016年11月

代表取締役社長 鈴木 俊宏

## 株 式 (2016年9月30日現在)

- 株式の総数 発行可能株式総数 1,500,000,000株 発行済株式の総数 491,000,000株
- 単元株式数 100株
- 株 主 数 29,900名
- 大 株 主

株 主 名	持 株 数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	26,452	6.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	20,055	4.5
東京海上日動火災保険株式会社	17,961	4.1
株式会社三菱東京UFJ銀行	16,000	3.6
株式会社静岡銀行	14,500	3.3
株式会社りそな銀行	13,000	2.9
ジーピー モルガン チェース バンク 380055	12,594	2.9
ザ バンク オブ ニューヨーク メロン エスエーエヌブイ 10	8,108	1.8
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	7,761	1.8
新日鐵住金株式会社	7,759	1.8

(注) 1.上記のほか、当社が保有している自己株式49,717千株があります。  
2.持株比率は、当社保有の自己株式を除いて算出しております。

## 会社の概要 (2016年9月30日現在)

- 社 名 スズキ株式会社
- 英文社名 SUZUKI MOTOR CORPORATION
- 本 社 静岡県浜松市南区高塚町300番地
- 設 立 1920年3月
- 役員氏名
- 資 本 金 138,014,762,161円
- 決 算 期 3月31日
- 従業員数 (就業人員数) 連結 62,932名 単 独 15,364名

※取締役会長	鈴木 修	常勤監査役	中村 邦夫	専務役員	鮎川 堅一	常務役員	大石 修司
※取締役副会長	原山 保人	常勤監査役	望月 英二	専務役員	青山市 三	常務役員	山口 和樹
※取締役社長 (CEO兼COO)	鈴木 俊宏	監査役	田中 範雄	常務役員	蓮池 利昭	常務役員	山村 茂之
		常勤監査役	山崎 泰啓	常務役員	袴田 和夫	常務役員	鈴木 敏明
		監査役	荒木 信幸	常務役員	笠井 公人	常務役員	山下 英紀
				常務役員	大石 泉	常務役員	齊藤 欽司
				常務役員	豊田 泰輔	常務役員	大西 知郎
				常務役員	永尾 博文	常務役員	宮本 敬司
				常務役員	浅井 慶一	常務役員	綾部 和彦

(注) 1. ※印は、代表取締役であります。  
2. 取締役のうち、井口雅一及び谷野作太郎の両氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。また、東京証券取引所の定めに基づく独立役員であります。  
3. 監査役のうち、田中範雄、山崎泰啓及び荒木信幸の三氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。また、東京証券取引所の定めに基づく独立役員であります。

### ●株主優待制度について

当社では、株主様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社製品の一層のご愛用を願ひまして、2016年3月31日現在で1単元(100株)以上を保有の株主様を対象に、株主優待を以下のとおり実施いたしました。

#### 〈優待内容〉

当社の欧州生産拠点マジャールズズキ社の所在国ハンガリーの産品である「ハンガリーアカシアはちみつ」と、天然のミネラルを豊富にバランスよく含んだドイツ原産の「岩塩」の詰め合わせ



(※) 株主優待品につきましては、2016年3月31日現在のご登録住所あてに5月中旬～6月末頃にかけて発送いたしました。ご住所変更や長期ご不在などの理由による優待品不達の場合は再発送手続きは、2017年4月末日をもって終了させていただきますのでご了承願ひいたします。

#### 【再発送手続きに関するお問い合わせ】

スズキ株式会社  
お客様相談室 ☎ 0120-402-253  
受付時間/9:00～12:00、13:00～17:00

## 連結貸借対照表

(単位:百万円未満切捨て)

科 目	当第2四半期連結会計期間 (2016年9月30日現在)	前連結会計年度 (2016年3月31日現在)
<b>資 産 の 部</b>		
流 動 資 産	1,804,744	1,632,630
現金及び預金	634,579	497,187
受取手形及び売掛金	313,326	335,343
有価証券	369,043	279,571
商品及び製品	190,533	190,068
仕掛品	32,344	34,311
原材料及び貯蔵品	52,091	61,921
その他	218,562	240,415
貸倒引当金	△ 5,738	△ 6,188
固 定 資 産	980,630	1,069,377
有形固定資産	727,205	757,076
無形固定資産	2,331	4,368
投資その他の資産	251,093	307,932
投資有価証券	173,600	244,573
その他	78,315	64,138
貸倒引当金	△ 445	△ 500
投資損失引当金	△ 377	△ 280
資 産 合 計	2,785,374	2,702,008
<b>負 債 の 部</b>		
流 動 負 債	1,015,510	1,145,956
買掛金	389,326	402,624
電子記録債権	66,963	64,055
短期借入金	154,045	266,490
未払法人税等	33,402	29,486
製品保証引当金	71,109	66,032
その他	300,662	317,266
固 定 負 債	586,081	368,348
新株予約権付社債	200,450	-
長期借入金	285,305	262,797
災害対策引当金	2,464	3,056
その他の引当金	9,740	9,529
退職給付に係る負債	60,826	56,346
その他	27,293	36,618
負 債 合 計	1,601,591	1,514,305
<b>純 資 産 の 部</b>		
株 主 資 本	1,097,024	1,004,668
資本金	138,014	138,014
資本剰余金	144,035	144,166
利益剰余金	1,006,023	913,656
自己株式	△ 191,048	△ 191,169
その他の包括利益累計額	△ 125,866	△ 46,970
その他有価証券評価差額金	72,264	77,624
繰延ヘッジ損益	△ 343	536
為替換算調整勘定	△ 188,700	△ 115,551
退職給付に係る調整累計額	△ 9,086	△ 9,580
新 株 予 約 権	126	188
非支配株主持分	212,497	229,816
純 資 産 合 計	1,183,782	1,187,703
負 債 純 資 産 合 計	2,785,374	2,702,008

## 連結損益計算書

(単位:百万円未満切捨て)

科 目	当第2四半期連結累計期間 (2016年4月1日から 2016年9月30日まで)	前第2四半期連結累計期間 (2015年4月1日から 2015年9月30日まで)
売 上 高	1,498,956	1,555,522
売 上 原 価	1,061,434	1,130,248
売 上 総 利 益	437,522	425,274
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	322,018	324,181
営 業 利 益	115,503	101,093
営 業 外 収 益	13,869	21,185
受 取 利 息	4,929	7,876
受 取 配 当 金	2,479	4,955
持 分 法 に よ る 投 資 利 益	1,265	1,091
そ の 他	5,194	7,262
営 業 外 費 用	7,549	10,183
支 払 利 息	2,251	3,466
為 替 差 損	2,819	955
そ の 他	2,478	5,761
経 常 利 益	121,823	112,095
特 別 利 益	47,257	36,949
固 定 資 産 売 却 益	496	188
投 資 有 価 証 券 売 却 益	46,761	36,760
特 別 損 失	6,913	530
固 定 資 産 売 却 損	85	469
減 損 損 失	6,828	61
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益	162,167	148,513
法 人 税 等	43,557	49,244
四 半 期 純 利 益	118,610	99,269
非支配株主に帰属する四半期純利益	18,682	20,217
親会社株主に帰属する四半期純利益	99,927	79,051

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円未満切捨て)

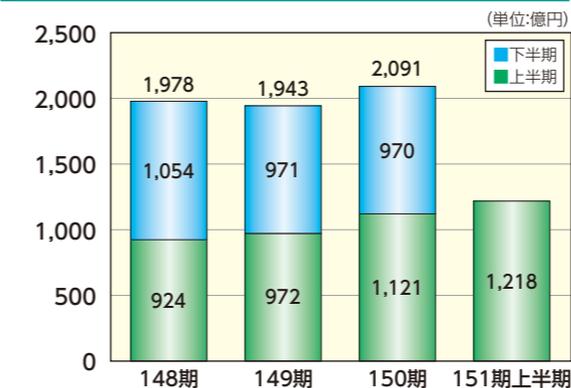
科 目	当第2四半期連結累計期間 (2016年4月1日から 2016年9月30日まで)	前第2四半期連結累計期間 (2015年4月1日から 2015年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	184,272	81,715
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 128,171	△ 124,881
財務活動によるキャッシュ・フロー	99,943	△ 606,354
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 13,536	△ 5,617
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	142,508	△ 655,137
現金及び現金同等物の期首残高	450,088	932,261
現金及び現金同等物の四半期末残高	592,597	277,124

## 連結業績の推移

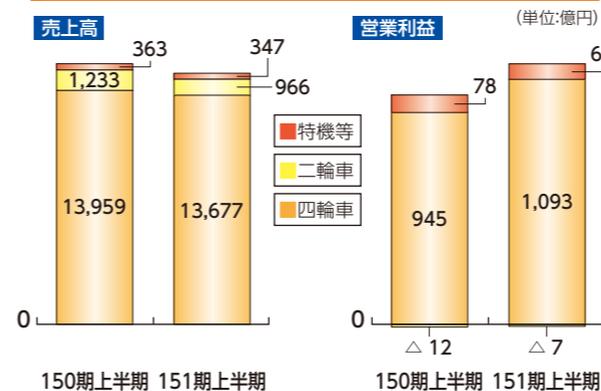
### 連結売上高の推移



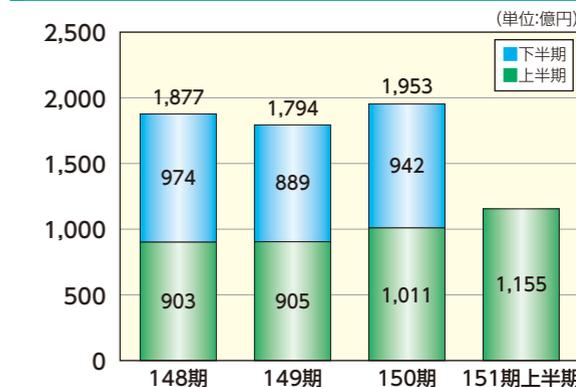
### 連結経常利益の推移



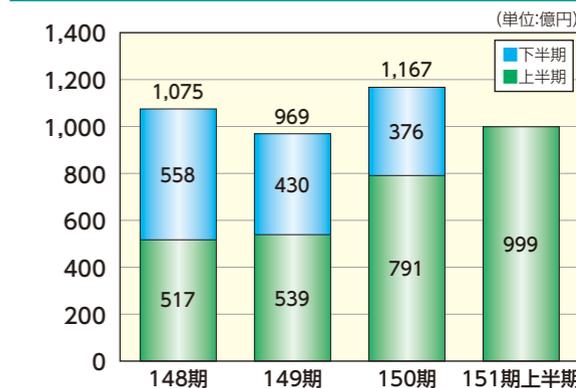
### 事業別の業績



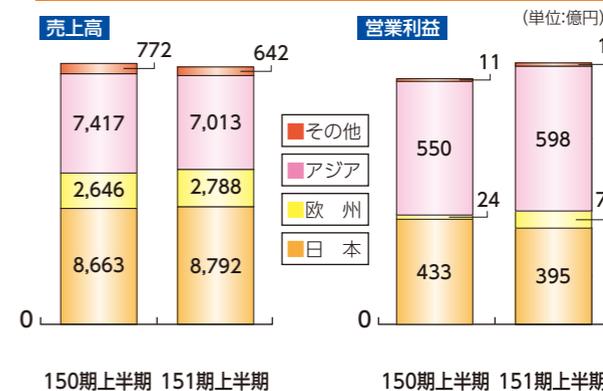
### 連結営業利益の推移



### 親会社株主に帰属する当期純利益の推移



### 所在地別の業績



## 「燃費・排出ガス試験に係る不正行為への対応」に基づく再発防止対策への取り組み

当社の四輪車の走行抵抗の測定において、国土交通省が定める規定と異なる不正な取扱いを行っていたことにつきまして、再発防止対策を着実に実行するとともに、各種業務におけるコンプライアンスの徹底やリスク管理体制の強化等に全力で取り組んでまいります。また、再発防止のための取り組みの進捗状況につきましては、2016年9月27日に国土交通省に報告いたしました。

なお、当社の燃費・排出ガス試験に係る確認結果につきましては、独立行政法人自動車技術総合機構による走行抵抗及び燃費・排出ガスに係る確認試験の結果、当社の燃費諸元値(カタログ表記の燃費値)及び排出ガス諸元値に問題が無かった旨、2016年8月30日に国土交通省より発表がありました。

### 「再発防止対策の内容」

#### (1) 技術者教育・研修の強化

- ① 役員へのコンプライアンス研修
- ② コンプライアンスと内部通報制度に関する研修
- ③ 安全・環境に関わる技術基準についての研修
- ④ 技術部門へのコンプライアンス研修
- ⑤ 再発防止策徹底のための全社研修会

#### (2) 走行抵抗申請値決定に係る責任の明確化

技術管理本部において、恠行法による走行抵抗の測定や走行抵抗申請値の決定に係る手続きを定めた社内規程「国内向け認証用走行抵抗取扱手続」を6月8日に制定

#### (3) 走行抵抗申請値に係る社内チェック体制の強化

- ① 法規認証部のチェック体制の強化
- ② 認証関係で国土交通省に提出する書類やデータについての手続き規定の整備

#### (4) 恠行法測定のための試験設備の整備及び測定技術の向上

- ① 走行路面の整備
- ② 試験装置の追加
- ③ 測定に与える影響の調査及び測定マニュアルの見直し
- ④ 恠行法により測定する技能者の増員及び技能習熟

#### (5) 四輪技術本部における閉鎖的な体質の解消

- ① 人材育成委員会の設置
- ② 四輪技術本部の各部門の業務フローを明確にした社内規程の制定

#### (6) 技術に関わる業務監査体制の強化

- ① 各官庁に提出する認証資料及び関連する業務マニュアルの整備状況の確認
- ② 監査部門による再発防止策実施の進捗状況の確認

#### (7) 内部通報制度の利用促進

当社グループの行動指針と内部通報の連絡窓口が記載された小冊子を配布し、従業員への浸透を図る

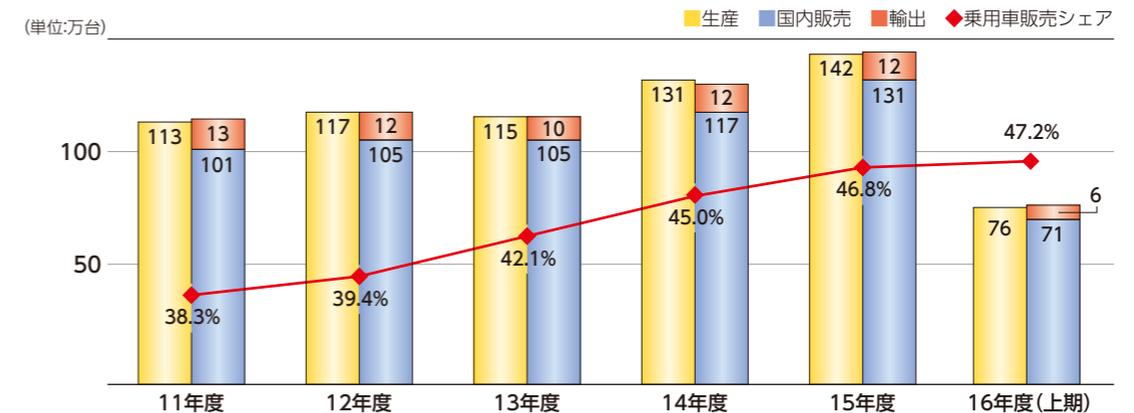
※2016年9月27日に国土交通省に報告した再発防止の取り組みの進捗状況につきましては、当社ホームページ <http://www.suzuki.co.jp/> より、「お知らせ」でご確認いただけます。

## トピックス インドにおける四輪事業の現況について

当社のインド子会社マルチ・スズキ・インディア社(以下マルチ・スズキ社)は、昨年度にS-クロス(エスクロス)、パレーノ、ビターラプレッツァといった新モデルを投入しました。新機種の積極的な投入や販売チャネルのNEXA(ネクサ)の拡充、小型商用車参入による新市場の開拓等、販売増に向けた取り組みを一層強化するとともに生産能力拡大のため、現在、子会社スズキ・モーター・グジャラート社がグジャラート州に新工場の建設も進めております。

### マルチ・スズキ社 生産・販売台数とシェアの推移

2016年度上期は、「パレーノ」や「ビターラプレッツァ」の好調な販売等により、販売台数は前年比112%と過去最高を更新しました。四輪乗用車販売におけるシェアは47.2%となっています。



2016年9月

### 輸出台数の累計150万台達成

マルチ・スズキ社は、インドからの輸出台数累計150万台を達成しました。1987年に欧州向けの輸出を開始、現在では、欧州をはじめ、中南米、アフリカを中心に輸出を拡大しています。また、日本向けにパレーノの輸出を開始し、3月より発売しています。

2016年7月

### インドの小型商用車市場を新規開拓

インドの商用車市場は約70万台に達しています。マルチ・スズキ社は、小型トラック「スーパーキャリイ」で小型商用車市場に新規参入しました。商品を投入し、お客様の需要に応えることで同社にとっての新規市場を開拓します。



2016年7月

### 新販売チャネル「NEXA」1周年

2015年7月に営業を開始したNEXAが1周年を迎えました。きめ細かなサービスと顧客管理によって、NEXAの年間販売台数は10万台を超え、店舗数も2016年9月末で175店舗となっています。これからも多様化するお客様のニーズとご期待に応えてまいります。



# 株主メモ

定時株主総会	6月中	株主名簿管理人 特別口座の口座 管理機関	〒100-8233 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告します。	同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告によります。 但し、やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、東京都において発行される日本経済新聞に掲載して行います。 <a href="http://www.suzuki.co.jp/ir/index.html">http://www.suzuki.co.jp/ir/index.html</a>	郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行事務センター フリーダイヤル 0120-782-031 (受付時間:平日9:00~17:00)
証券コード	7269	同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 全国本支店

## 株式に関する各種お手続きについて

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について	未払配当金の支払いについて
①証券会社をご利用の株主様 お取引の証券会社にお申出ください。 ②証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様 特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。	株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

# ハイブリッド 新登場

## 新型ソリオ誕生!

コンパクトハイトワゴン<sup>※1</sup>  
No.1の低燃費

**JC08モード**  
燃料消費率  
(国土交通省審査値)

**32.0**  
km/L<sup>※2</sup>

Photo : HYBRID SZ デュアルカメラブレーキサポート・全方位モニター付メモリーナビゲーション装着車  
ボディカラーはピュアホワイトパール (ZVR)

※1 コンパクトハイトワゴン=総排気量1.5L以下・全高1,600mm以上の2列座席5ドアワゴン。JC08モード走行燃費(国土交通省審査値)に基づく。2016年11月現在、スズキ調べ。ソリオ バンディットも同燃費値です。  
 ※2 燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。